

# 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

## 2016 年度事業報告

### 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2016 年度の経過

2016 年度の事業として、第 31 回リハ工学カンファレンスを 8 月 26 日から 28 日まで高知県立ふくし交流プラザにおいて開催し、262 名の参加者があり、113 演題の発表、公開講座、各 SIG による基礎セミナーをしました。また会期中に高知市内の会場において 30 周年記念イベントを実施し、盛会のうちに終了することができました。福祉機器コンテストは 7 月に一次選考会、8 月に二次選考会を開催し、機器部門 3 件、学生部門 3 件の受賞作を選考しました。受賞作は 10 月 12 日に東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展 (H.C.R.2016) において本協会のブースに展示し、同会場で表彰式を行いました。受賞作は西日本国際福祉機器展 (P.P.C.2016 : 北九州市)、リハ工学カンファレンス (高知市) において展示し、多くの関係者の注目を集めました。協会誌は 31 巻 3 号から 32 巻 2 号まで 4 回発行し、32 巻 1 号では福祉機器コンテストの報告書も合わせて会員に発送しました。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG 関連では 10SIG の中で乗り物、自助具、特別支援教育、褥そう予防装置の 4SIG について法人内 SIG に移行する手続きを進め、他の 6 SIG については協力関係の覚書を締結しました。災害対策委員会では、熊本地震による被災地の支援活動について計画し、日本財団の助成金を得て、9 月、11 月、3 月と 3 回にわたって複数の委員が益城町の仮設団地を中心に訪問し、現地のボランティアや被災した住民と共に、避難生活に必要な家具を強化段ボールで製作するワークショップを開催しました。5 月 13 日と 14 日には仙台市で第 5 回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会を開催し、51 名の参加者を集めました。広報活動としては H.C.R.2016、P.P.C.2016、バリアフリー 2017 等においてブースを設け、本協会の活動を PR すると共に、主催者の主催するイベントに協力いたしました。また 2017 年 5 月から JRAT (大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会) に正式に加盟が承認され、他関連団体と連携して大規模災害が発生した時に支援活動を実施する予定です。

以上のように今年度も多方面にわたる事業を実施して参りました。従来からの事業は縮小せず、出費を抑える努力を続けてきましたが、財政面では依然として単年度赤字が出る状況が続いています。今後も本協会を継続及び発展させるため、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

会長 繁成 剛

## 1. 社員・会員

### 1-1. 法人社員・会員

2016 年 7 月 1 日 正会員 767 名 (うち社員 (代議員) 94 名)、学生会員 21 名、  
賛助会員数 21 社 (61 口)

2017 年 6 月 30 日 正会員 785 名 (うち社員 (代議員) 91 名)、学生会員 28 名、  
賛助会員数 21 社 (61 口)

## 2. 事業

本協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の 2016 年度の活動を報告する。

## 2-1. リハ工学カンファレンス関連（担当理事：剣持悟・宮野秀樹）

### 1) 第31回リハ工学カンファレンス in こうちの開催

テーマを「あたりまえの生活を保障する～可能性を拓げるテクノロジー～」と題して2016年（平成28年）8月26日（金）～28日（日）、高知県立ふくし交流プラザ（高知市）において白石研二氏（高知県社会福祉協議会 事務局次長）を大会長、下元佳子氏（生き生きサポートセンターうえるば高知代表）を実行委員長として開催した。担当理事も実行委員会（2015年12月11日、2016年3月15日、5月24日、8月9日）に参加し、オプションツアー「車椅子で登る高知城堪能ツアー」の企画、立案にも携わった。特別公開講座としては、「進化発生介助ロボットリハビリテーション学～ロボットを用いた人の動き・発達の研究～」と題して、士別市立病院医師の澤口裕二氏（日本褥瘡学会北海道地方会世話人、アウェアネス介助論著者）にご講演いただき、大盛況であった。情報保障では公開講座で手話通訳を、交通アクセスはノンステップバスの運行や、福祉車両や介護タクシーを手配するなど、高知市内と会場間の移送に配慮した。会員・協賛団体、障害当事者、学生、リハ工学技術者及び研究者、医療専門職、社会福祉・教育・企業関係者が参加した。

当カンファレンスへの参加者数は下表の通り262名であった。海外からの参加者は無かった。

参加種別	協会員 協賛団体	非協会員	学生	当事者 初回発表者	合計
第31回（高知）	190名	50名	20名	2名	262名

#### ・研究発表等

- ・演題数：113題（うち、学生セッション5題、国際セッション4題）
- ・口頭発表：22セッション、83演題
- ・インタラクティブセッション：30演題
- ・イブニングセッション（1日目～2日目）
- ・交流セッション（3日目）

#### ・特別公開講座

「進化発生介助ロボットリハビリテーション学～ロボットを用いた人の動き・発達の研究～」  
講演者：澤口裕二氏（士別市立病院 医師）  
150名の参加があった。

#### ・企業展示

リハビリテーション工学関連企業15社による開発商品展示及び研究開発の紹介を行った。

#### ・交流会

カンファレンス2日目、イブニングセッション終了後に30周年記念式典と同会場で交流会が開催された。参加者は164名であった。関係者の挨拶の後、多くの参加者同士の交流が行われた。会場では、土佐和太鼓が披露され、大盛況であった。

#### ・福祉機器コンテスト2016

最終選考会ならびに一次選考通過作品の展示が行われた。

#### ・オプションツアー 「車椅子で登る高知城堪能ツアー」

参加者11名。

### 2) 第32回リハ工学カンファレンス開催準備

- ・第32回リハ工学カンファレンス実行委員会及びi-CREAtE2017の打ち合わせに出席し、演題募

集、論文登録、事前参加登録開始における調整を行った。演題申込みは105件であった。

- ・カンファレンス実行委員会から講演論文事務局業務を委託され、採択処理及び書式チェック等のとりまとめを行った。
- ・5月1日(月)より事前参加登録を開始した。
- ・5月19日(金)に協賛・後援名義使用申請書を送付した。
- ・出展企業募集は5月10日(水)で締め切り。17社から申込みがあった。

### 3) 第33回リハ工学カンファレンス開催準備

- ・神奈川県厚木市での開催が10月23日(日)に行われた理事会で承認された。
- ・大会長は沖川悦三氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)、実行委員長は村田知之氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)に承諾をいただいた。
- ・厚木市及び文化会館と開催日程を協議し、2018年8月29日(水)～31日(金)となった。

## 2-2. 福祉機器コンテスト関連(担当理事:山形茂生)

### 1) 福祉機器コンテスト2016

- ・第一次選考会 2016年7月9日(土) 応募作品の書類・ビデオ審査  
於:横浜市福祉機器支援センター 中山福祉機器支援センター  
応募総件数51件:機器開発部門23件、学生部門28件  
一次通過作品:機器開発部門10件、学生部門9件
- ・第二次選考会 2016年8月26日(金):第31回リハ工学カンファレンスinこうち期間中  
機器開発部門:プレゼンテーション審査、学生部門:書類・ビデオ審査  
於:高知県立ふくし交流プラザ(高知市)
- ・発表、表彰:H.C.R.2016会場内 2016年10月12日(水)
- ・展示、広報:  
H.C.R.2016(東京)2016年10月12日(水)～14日(金)(表彰式/受賞作品の実物展示)  
P.P.C.2016(北九州市)2016年11月24日(金)～26日(日)(受賞作品の実物展示)
- ・福祉機器コンテスト結果報告書を作成し、関係団体に配布をした。
- ・協会誌Vol.32 No.1に結果報告書と協賛企業報告を掲載した。
- ・2017年度コンテスト事務局となる有限会社 車座(宮城県仙台市)との業務委託契約を結んだ。

### 2) 福祉機器コンテスト2017

特別協賛:フランスベッド株式会社

協 賛:株式会社有菌製作所、川村義肢株式会社、株式会社ケアフォース、株式会社ケープ、  
日陶科学株式会社、株式会社ミクニライフ&オート、株式会社モリトー

後 援:経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業  
技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日  
本作業療法士協会

- ・福祉機器コンテスト2017選考委員会の設置(2017年4月1日～)
- ・募集対象:機器開発部門、学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布:2017年4月中旬
- ・募集期間:機器開発部門、学生部門 2017年5月2日(火)～
- ・展示、広報:バリアフリー2017(大阪)2017年4月20日(木)～22日(土)にて最優秀作品の展示

とコンテストの広報を行った。また、ウェルフェア 2017 (名古屋) 2017 年 5 月 18 日 (木)~20(土)にてコンテストの広報を行った。

### 2-3. 協会誌関連 (担当理事: 石濱裕規)

1) 協会誌の発刊: 以下の協会誌を刊行した。

- Vol.31 No.3 2016/8/1 特集 「話してすっきりしよう! —相談の中から発見される人間関係技術 ぴったりの解決策—」
- Vol.31 No.4 2016/11/1 特集 「重度障害者のコミュニケーション機器—変遷する技術と支援—」
- Vol.32 No.1 2017/2/1 特集 「センサとリハ工学」
- Vol.32 No.2 2017/5/1 特集 「災害時の環境整備 日常生活を取り戻すための技術」

2) 編集委員会の開催

年 4 回、横浜にて開催した。電子会議は、技術的には実施可能な環境が整いつつあるが、今期は関東近郊の委員構成もあり、実施には至らなかった。新規編集委員は 2016 年度末迄に公募推薦含め 4 名の定数に達し、委嘱手続を進めた。

3) 投稿論文

投稿論文は 2016 年度新規投稿 3 件 (うち、1 件受理、1 件修正中) であった。第 3 査読者を立てる必要がある場合等、査読期間の短縮化を進めるための体制につき、検討が必要である。

4) 協会誌の電子化

2006 年 Vol.21 No.4 以降の投稿記事を公開対象とした電子公開が理事会決議され、科学技術振興機構運営の J-STAGE サービスへ掲載申請し、承認された。

### 2-4. 分科会・専門委員会 (担当理事: 岩崎満男)

1) 法人外 SIG (協力 SIG) との覚書締結

協力 SIG としての 6SIG (車いす SIG、SIG 姿勢保持、移乗機器 SIG、COMSIG、SIG 住まいづくり、義肢装具 SIG) については、協会との協力関係を明記した「覚書」を締結した。

各 SIG の 2016 年度活動報告については、次ページに示す。

2) 支部設置方針の見直し並びに規定整備

支部の区割りを決定し、全国を 6 支部 (東日本支部、関東・甲信越支部、中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部) とした。既存の 3 支部 (中部、関西、九州・沖縄・山口) は引き続き支部活動を推進することとし、新規支部の立ち上げ準備を行った。

3) 復興支援講習会開催の検討

第 5 回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城 (2017 年 5 月 13~14 日、仙台市) の企画・運営を行った。

4) 災害対策委員会の活動

2016 熊本地震の被災地支援を目的に、日本財団の助成金交付が決定し、現地調査 (具体的なニーズ調査)、物資の支援 (強化ダンボールで机、椅子、棚等の生活必需品を作るための材料提供)、技術支

援（被災地での制作ワークショップ）を実施した。本活動の報告書を作成し日本財団に提出した。

2016年度活動報告 期間：2016年7月～2017年6月		※会員数(協会員数)は2016年5月1日現在。
<b>SIG姿勢保持</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	会員数：176名(41名)
代表者：繁成剛(東洋大学) 事務局長：児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・SIG基礎セミナー開催：2017年6月24日・25日(東洋大学) ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館) ・役員会の開催：2017年1月7日 横浜市総合リハビリテーションセンター ・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集PDF版の販売		
<b>車いすSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/wc-sig/">http://www.resja.or.jp/wc-sig/</a>	会員数：133名(67名)
代表者：松尾清美(佐賀大学) 事務局長：深野栄子 ・講習会開催：2016年8月24日・25日 高知県立ふくし交流プラザ(高知市) ・講習会開催：2017年1月28日・29日 プロミティあつぎ(神奈川県) ・WEBサイト運営、テキスト発行(年2回)、分科会(BOG)活動、東日本大震災復興支援、協会事業への協力 他		
<b>自助具SIG</b>		会員数：9名(9名)
代表者：岡田英志(ヒューマン) 事務局長：岡田英志(ヒューマン) ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館) ・自助具セットの製作(支援講習会仙台で使用) ・Facebookを利用した情報発信(selfHelpDevicesノウハウ集No.1～11まで発信)		
<b>乗り物SIG</b>	<a href="http://ameblo.jp/sunrisejp007/">http://ameblo.jp/sunrisejp007/</a>	会員数：5名(5名)
代表者：岩崎満男(㈱ファーストウェルフェア) 事務局長：増子千景(WILD GATE) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館)		
<b>SIG褥そう防止装置</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	会員数：20名(20名)
代表者：新妻淳子(国立リハセンター研究所) 事務局長：河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館)		
<b>コミュニケーションSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/com-sig/">http://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	会員数：67名(20名)
代表者：渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長：上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館) ・島山卓朗氏追悼講習会共催(リハビリテーション工学協会中部支部主催) 2017年6月10日		
<b>SIG住まいづくり</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	会員数：107名(60名)
代表者：橋本美芽(首都大学東京) 事務局長：鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣		
<b>特別支援教育SIG</b>		会員数：5名(5名)
代表者：松田靖史(川村義肢株式会社) 事務局長：高原光恵(鳴門教育大学) ・講習会開催：2016年8月25日 高知県立ふくし交流プラザ(高知市) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館)		
<b>移乗機器SIG</b>	<a href="http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html">http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html</a>	会員数：128名(23名)
代表者：古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長：青木久美子(宇部記念病院訪問リハビリテーション) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣：2017年5月13・14日(戦災復興記念館) ・ニュース発行(2回)		
<b>義肢装具SIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a>	会員数：164名(47名)
代表者：水澤二郎(一般財団法人啓成会啓成会高等職業技術専門学校) 事務局長：砂野義信 ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・講習会開催：2016年10月1日 義肢装具SIG第12回講習会 高知県立大学・高知工科大学 永国寺キャンパス(高知県) ・WEBサイト運営		
<b>2016年度活動報告</b>		
<b>九州・沖縄・山口支部</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/koy">http://www.resja.or.jp/koy</a>	
支部長：松尾清美(佐賀大学) 支部庶務幹事：小林博光(総合せき損センター) ・リハ工学関連セミナー：2016年11月24～26日 第18回西日本国際福祉機器展(北九州市) ・第18回西日本国際福祉機器展リハ工ブース支援2016年11月23日～26日(搬入出及び説明・相談/支援スタッフ)		
<b>関西支部</b>		
支部長：黒田大治郎(元・神戸学院大学) 事務局長：糟谷佐紀(神戸学院大学) ・バリアフリー2017リハ工ブース担当：2017年4月20～22日 インテックス大阪(大阪市) ・セミナー「電動車椅子の空港利用を考える」：2017年2月18日・大阪国際空港(伊丹空港)		
<b>中部支部</b>		
支部長：渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長：井村保(中部学院大学) ・島山卓朗氏追悼講習会共催(リハビリテーション工学協会中部支部主催、COMSIG共催) 2017年6月10日		

## 2-5. 企画推進事業(企画担当理事：中村俊哉/事業統括理事：金井謙介)

協会の広報活動及び会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展及び出展社セ

ミナー等の開催を行った。

#### 1) 学会展示会、広報活動強化

以下の展示会へブースを設定し、広報活動を実施した。

- ・H.C.R.2016 (2016年10月12日(水)～10月14日(金) 於：東京ビッグサイト (東京)) にてブース出展を行った。
- ・P.P.C.2016 (2016年11月24日(木)～26日(土) 於：西日本総合展示場新館) 九州・沖縄・山口支部の協力の上出展を行った。
- ・バリアフリー2017 (2017年4月20日(木)～22日(土) 於：インテックス大阪 (大阪)) への出展を行った。

#### 2) セミナー開催

以下のセミナーを開催した。

- ・H.C.R.2016 (東京) において、「電動車椅子で旅にでよう 電動車椅子で飛行機に乗るには」(講師：宮野秀樹氏・松尾清美氏・黒沢直子氏、2016年10月13日(木)) を開催した。
- ・P.P.C.2016 (北九州) において、九州・沖縄・山口支部の協力を得て、連日複数回のセミナーを企画・開催した (2016年11月24日(木)～26日(土))。
- ・バリアフリー2017 において、「みんなで楽しもうや！重度障害者のスポーツ・レジャー～四肢麻痺者のチェアスキー・チャレンジから～」(講師：宮野秀樹氏・松田靖史氏・沖川悦三氏、2017年4月22日(土)) と題した出展社ワークショップを企画・開催した。

#### 3) 「一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 30周年記念式典」開催

日程 2016年8月27日(土) 19:30～21:30 於 土佐御苑 (高知市)

第31回リハ工学カンファレンス in こうちの交流会と合わせ開催した (前半：記念式典、後半：交流会)。

また、記念式典において、功労者 (4名)・功労企業 (9社) に対し感謝状の贈呈を行うとともに、功労者を代表し、相良二郎氏 (当協会顧問) より「減災デザインへの招待」としてご講演いただいた。

#### 4) 第5回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城開催

- ・2017年5月13日(土)～14日(日)、仙台市戦災復興記念館にて第5回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城を開催した。

#### 5) その他

- ・全国頸髄損傷者連絡会との第6回合同シンポジウム「つながろう！～みんなで考える車椅子ユーザーの住まいづくり～」を開催した (2017年3月25日(土)、福岡県中小企業振興センター)。

### 2-6. 国際関連の事業 (担当理事：畠中規)

- ・7月のi-CREATE2016へ剣持理事を派遣。CREATE Asiaの情報収集を行った。
- ・リハ工学カンファレンス (高知) の国際セッションを企画・運営した。
- ・協会誌に剣持理事よりi-CREATE2016報告を掲載し、協会員に国際活動を周知した。
- ・RESJA 英文リーフレットの専門業者による校正を行った。
- ・CREATE Asia、日韓台3カ国協定、昨年始まったRESNA主導の国際連携 (支援技術専門家組織連合：AATPO)、今年WHOと中国が主導して立ち上げようとしているアジア連携 (3AT) の

それぞれのアジア連携に関する動きに関する情報収集と対応を行った。

- ・理事会とともに諸外国との国際連携を推進するため、国際経験豊かな相良二郎氏、井上剛伸氏、井村保氏にご協力をお願いし、上記の諸課題を相談し、アドバイスを頂きながら取り組んだ。

### 3. 総務

#### 3-1. 規則・選挙（担当理事：水澤二郎）

- ・2016年度定時社員総会における第3号議案（定款の変更）の決議を受け、定款の改定を行った。
- ・選挙管理委員会の発足、並びに当該委員会業務に関するとりまとめを行った。
- ・代議員並びに役員の任期満了に伴い、代議員選挙、役員候補者選挙を行った。
- ・各種規則等の規定状況についてその内容を精査し、運用上の問題点や改定の必要性の有無を確認した。

#### 3-2. 財務（担当理事：吉田泰三）

昨年度構築した財務・財務管理体制を運用した。通常の決算処理ならびに予算作成を遅滞なく行った。また、新たに立ち上げられた支部の活動や、新たに設置された災害対策委員会の活動に関する財政的支援を行った。

#### 3-3. 総会・理事会等会議開催（担当理事：高原光恵）

##### 1) 2016年度定時社員総会の開催

2016年8月27日 12:20～13:20、高知県立ふくし交流プラザにおいて定時社員総会を開催した。

##### 2) 2016年度第1回（通算第38回）～第5回（通算第42回）理事会の開催

2016年7月24日、10月23日、12月11日、2017年3月19日、6月18日に開催した。

#### 3-4. 広報・渉外（担当理事：杉本昌子）

- ・メールニュースの配信（17件／2017.5現在）
- ・会員ML新規登録（39件／2017.5現在）
- ・会員ML変更作業（18件／2017.5現在）
- ・新会員MLサービスの準備を行った。
- ・新規事業後援、協力等の対応（1件）
- ・2017年度（予定）協会ホームページリニューアルにあたり、現状の課題整理を行った。
- ・協会のFacebookにて随時情報発信を行った。

### 4. 事務局（担当理事：沖川悦三）

#### 1) 事務局運営

- ・法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた。
- ・会費未納者（108名：16年度会費未納者72名、16・15年度会費未納者36名）へのお知らせを送付し、47名から納入があった（16年度分47件、15年度分14件、14年度分1件）。

#### 2) ホームページの運営管理

会員サービスの一環として、今まで以上のホームページ掲載内容の充実を図り、迅速に情報を掲載した。

#### 3) 大規模災害時の協会の対応

大規模災害時の協会の対応のひとつとして、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）に加盟した。平成 29 年 5 月 26 日開催「第 41 回 JRAT 戦略会議」にて、本会の入会が正式に承認された。

## 5. 後援・協賛事業

2016 年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2016/7/3	プラネット第2回研究大会
2	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2016/7/29～30	ヨコハマ・ヒューマン&テクノラード2016
3	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2016/8/5～7	日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会
4	後援	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2016/9～2017/4	第4回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会	2016/9/6～9	ヒューマンインタフェースシンポジウム2016
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2016/9/9～11	第50回日本作業療法学会
7	後援	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校	2016/9/10～11	Japan ATフォーラム2016
8	後援	一般社団法人ナンフェス	2016/9/19	ウォーク&ランフェスタ2016
9	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2016/10/15	ケアリフォームシステム研究会 全国大会in横浜
10	後援	一般社団法人日本義肢装具学会	2016/10/15～16	第32回日本義肢装具学会学術大会
11	後援	特定非営利活動法人バイオフィリアリハビリテーション学会	2016/10/29～30	第20回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
12	後援	日本身体障害者補助犬学会	2016/10/29～30	日本身体障害者補助犬学会 第9回学術大会
13	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2016/11/3～5	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2016 (LE2016)
14	協賛	バイオメカニズム学会	2016/11/12～13	第37回バイオメカニズム学術講演会
15	後援	東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター	2016/11/19～20	平成 28 年度福祉用具講習会『第 4 回南多摩福祉機器展』
16	協賛	西日本国際福祉機器展実行委員会	2016/11/24～26	P. P. C. 2016第18回西日本国際福祉機器展
17	後援	介助犬のひろば実行委員会	2016/12/1～3	介助犬のひろばin北河内2016
18	協賛	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団	2016/12/3	かなりは リハ工学 福祉機器フェスティバル2016
19	協賛	感覚代行研究会	2016/12/12～13	第42回 (2016年) 感覚代行シンポジウム

20	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2016/12/15～17	第17回 SICEシステムインテグレーション部門講演会
21	後援	国立障害者リハビリテーションセンター	2017/1/29	支援機器利活用拡大シンポジウム2017
22	後援	日本チェアスキー協会	2017/2/23～26	障害者スキー普及講習会 第38回日本チェアスキー大会
23	協賛	特定非営利活動法人モバイル学会	2017/3/9～10	シンポジウム「モバイル'17」
24	後援	公益社団法人日本理学療法士協会	2017/5/12～14	第52回日本理学療法学会大会
25	協力	日本身体障害者補助犬学会	2017/5/26	航空関係者対象 障害者差別解消法 & 車椅子取扱いセミナー

下線は新規事業